

アカガイの放流について、
下記内容で大阪府を通じて令和８年７月２４日に報道提供を行いました。

アカガイの稚貝５万個を大阪湾に放流

（公財）大阪府漁業振興基金栽培事業場では、大阪湾の水産資源を増やすため、キジハタやヒラメなどの稚魚を生産し、自然の海に順応できる大きさまで成長させて放流する「栽培漁業」を推進しています。

このたび、アカガイの稚貝を下記により放流することになりましたので、お知らせ致します。

記

１．放流対象種

アカガイ

２．放流個体数

計 ５０，０００個（殻長３ cm、重さ約７ g）

３．放流日時及び放流場所

令和８年７月２８日（水） ９：３０～ 泉佐野市周辺海域

４．放流後の成長予測

約２年で殻長８ cm（約１５０ g）に成長し、漁獲対象のサイズとなる見込みです。



【放流するアカガイの稚貝】



【アカガイを放流する様子】